

# 一般質問



## 新市建設計画と財源

平方 嗣世 議員

**重点基本施策は25年度からの事業**  
**質問** 人口減少対策・地域医療の充実・スポーツ振興による地域活性化について、現在までの進捗と具体策は。

**市長** 少子化問題は、企業誘致と地場産業の育成による雇用確保を進めていきます。子育て支援として、共働きの夫婦が子育てしやすい施策を進めていきます。また、市内の人口増加地区を重点的に開発・整備を進めていきます。地域医療の充実、西群馬病院と渋川総合病院の再編・統合に向け努力



渋川医療センター完成予想図

していきます。スポーツを通じたまちづくりは、市民の健康づくり、小中学校への指導者派遣、交流人口増を柱として進めています。  
**実質公債費比率**

**質問** 今の市民一人当たり市債残高は県下一番、10年後は約2倍になる実質公債費比率18割になった時、副市長、市長はどう考えている。

**副市長** 公債費比率は、合併時に比べかなり改善されています。事業の見直し等について、議会と十分議論していきます。

**市長** 持続型行政とするため、基金を確保するとともに財政計画を立て、後年度負担を見据えながら、平準化して事業を進めていきます。  
**合併特例債150億円枠を堅持**  
**質問** 大型追加事業がある中、計画も見直しせず、限度額が堅持できるのなら、その根拠を詳細に示してほしい。

**市長** 財政計画を立て、市民の要望に応える中で、150億円を超える場合、議会と相談し進めます。



## 地域再生

須田 勝 議員

**廃校活用**  
**質問** 廃校となった校舎、校庭を運動会や祭りなどの会場として、地域住民に解放する考えは。

**学校教育部長** 廃校となった地区の跡地利用検討委員会の意向を聞いた上で検討することとします。  
**空き家対策**  
**質問** 放置されたままの廃屋、荒れたままの土地、庭木、雑草は伸び放題で火災など危険が潜んでいる。今後の対策と方針は。

**総務部長** 条例に基づき、危険な状態にある空き家については、所有者等へ適正な管理に向けた助言、指導等を行っています。

**結婚対策**  
**質問** 未婚の男女の交流や出会いの場の提供など、婚活事業を実施する民間団体等に対する補助は。また廃校庭で賑やかな（仮称）婚活祭と名付け、開催はどうか。

**保健福祉部長** 婚活に向けたスキルアップセミナーなどの事業を実施する団体等に補助金を交付します。廃校後の活用については、団

体等からの提案を含めて関係部局と調整し検討します。

**地域再生の問題点**  
**質問** 2月14、15日の降雪で除雪対応が全くできていなかった。未曾有の豪雪も住民自身の手で除雪した感がある。今後の災害に対して（仮称）非常時対策課なるもの設置の考えは。

**企画部長** 今回の豪雪の対応については、いただいたご意見や教訓を生かし、行政課消防防災対策室で、災害における体制強化の検討を進めたいと考えています。



市民の協力で雪かき進む

# 一般質問



JR八木原駅活性化構想、消防団装備構想、  
観光施設活性化構想  
中澤 広行 議員

**質問** 八木原駅周辺整備は、必要性がある。計画立案には、地区住民の意向調査が重要である。調査を実施する考えはあるか。

**市長** 八木原駅周辺は、集中的に投資できれば人口減少の歯止めになります。調査も行いたい。

**質問** 震災で殉職した消防団員は198人。政府で「消防団支援法」が成立された。処遇改善での退職金一律5万円引き上げの情報は。

**総務部長** 退職報奨金は、平成26年4月1日から一律5万円引き上げられる予定です。



消防団は、地域防災力の中核です

**質問** 階級によっては県内平均以下の団員報酬の引き上げはどうか。

**総務部長** 団員の処遇について、報酬及び運営交付金を含めた総合的な検討を行います。

**質問** 新装備基準での安全靴、活動服の貸与は。

**総務部長** 消防団と必要装備品の検討を行い、団の強化及び団員の安全確保に向けて取り組みます。

**質問** 市主体の観光戦略会議の構築を提言したが、結果は。

**副市長** 新年度予算に計上し、観光課に事務局を置く観光戦略会議を立ち上げ取り組みを始めます。

**質問** 豪雪による伊香保温泉のキヤンセルで被害は3億円を上回ると思う。何らかの補填を国や県に要望してもよいのではないか。

**市長** 同様に温泉地を抱える周辺自治体の長と連携して、国や県に対して要望をしていきます。

**質問** 甲人の金井東裏遺跡は、公開の前に魂を鎮める式典を行うべきではないのか。市独自の式典を強く要望する。



情報インフラを活用した街づくりを  
安力川 信之 議員

**市民相談支援システム構築を急ぐ**

**質問** 市民が道路の破損など、スマホなどで写真を市役所に送信。庁内で危険度や優先順位をつけ対応するシステム。たらい回しや放置を防ぎ、迅速に対応できることが期待される。実現の取り組みは。

**企画部長** サイバー攻撃やコンピュータウイルスの添付などへのセキュリティ対策、重複した内容の送信や誤送信などの課題もありま

す。GPS機能を利用して地図にも表示できるようなシステムを考

えています。ツイッターなどのSNSによる情報発信ツールの利用も視野に含めて検討していきま

す。

**質問** 情報インフラの向上のため情報専門官(CIO)の配置の考えは。

**企画部長** 職員としての位置付けや費用的なこともあり、引き続き研究・検討をさせていただきます。

**受益者負担のルール化を**

**質問** 市民会館は利用料の減免を指定管理者に委ねるべき。利用料

金制をしつかり運用して、指定管

理者の経営力を向上させる考えは。

**企画部長** 施設の利用料は受益者負担が原則ですが、使用料の減免制度を特例的、政策的に設け利用者の負担額を調整し、一定の公平性を確保することも必要です。慎重に判断していきます。

**質問** 耐震診断後の市民会館の将来計画は。

**企画部長** 平成26年度に実施する耐震診断の結果に基づき、今後の対応を検討していきます。



スマートフォンで情報提供

※ SNS 個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。